

平成16年度 文部科学省助成

ITを活用した生涯学習事業プランニング講座

第1講

ITを活用した新しい事業のあり方について

第1回「生涯学習支援システムの中に位置付ける」

山本 恒夫

やしま

八洲学園大学教授・筑波大学名誉教授

財団法人 日本視聴覚教育協会 JAVEA

< 生涯学習社会と生涯学習支援システム >



生涯学習社会の定義

生涯学習社会は、

「生涯のいつでもどこでも自由に学習機会を選択して学ぶことができ、その成果が社会で適切に評価されるような」社会である。（中教審答申、生涯審答申）

生涯学習社会の考え方と生涯学習支援

[生涯学習社会の考え方]

[支 援]

生涯のいつでも、どこでも

自由に学習機会を選択して

.....〈学習機会選択の援助〉

学ぶことができ

.....〈学習機会等の提供〉

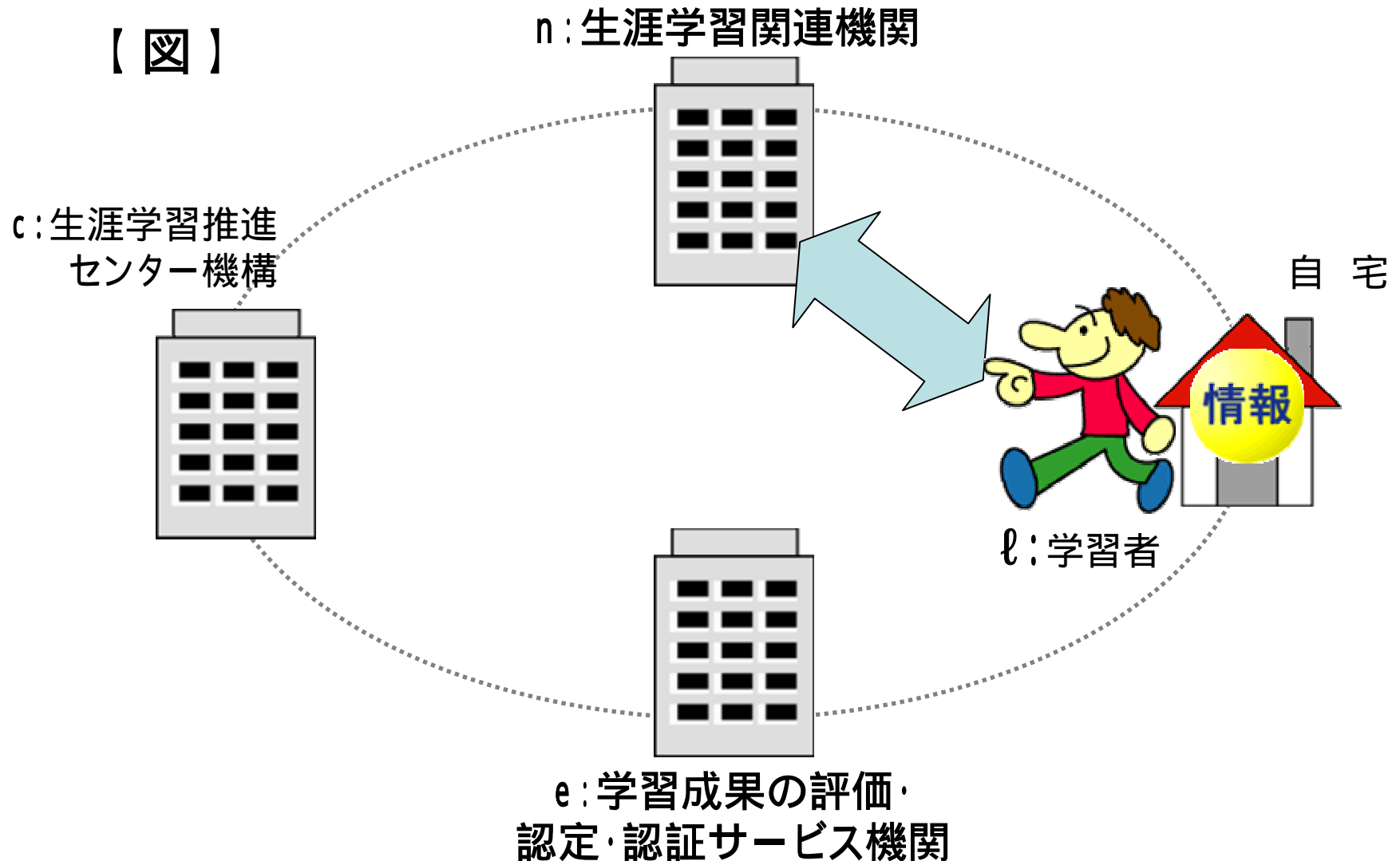
その成果が社会で適切に評価される

.....〈学習成果の評価・
認定・認証のサービス〉

ような生涯学習社会

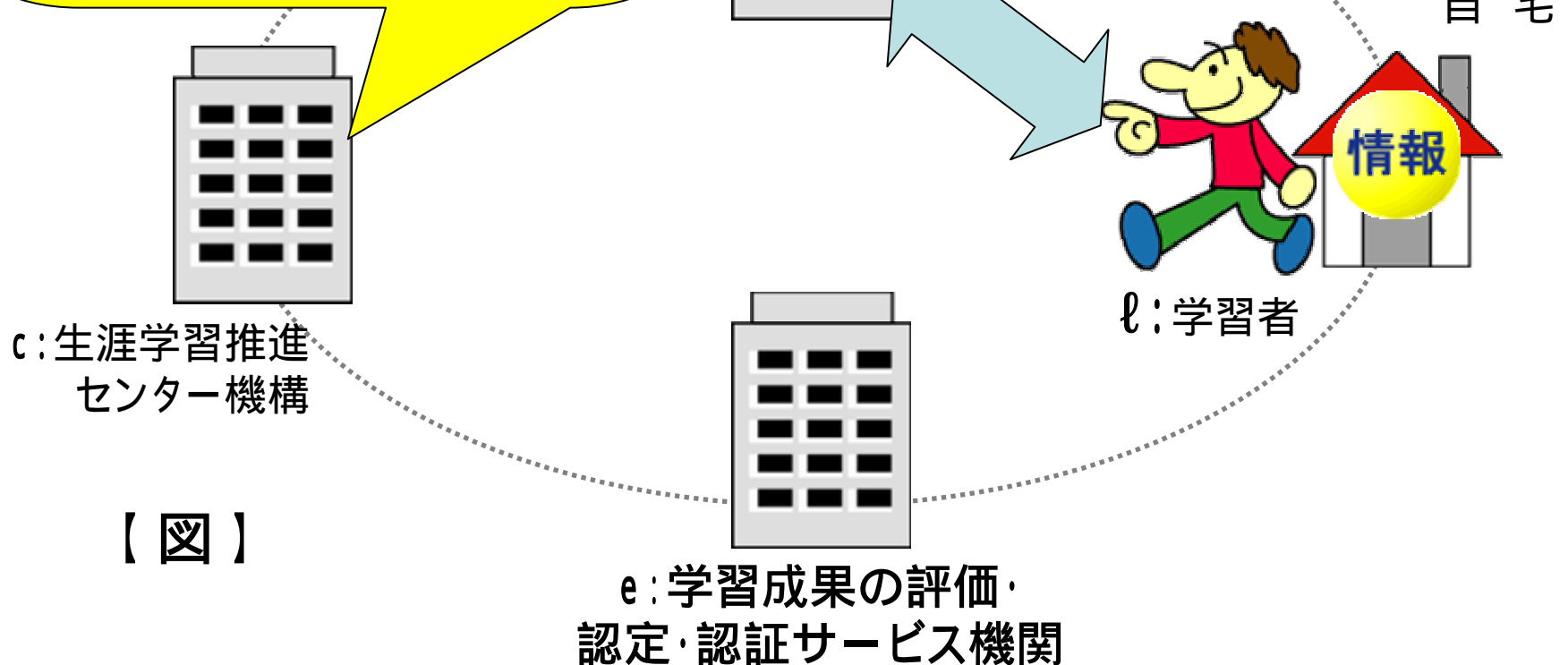
< マルチメディア・ネットワークを 導入した生涯学習システム >

【図】



生涯学習推進センター機構

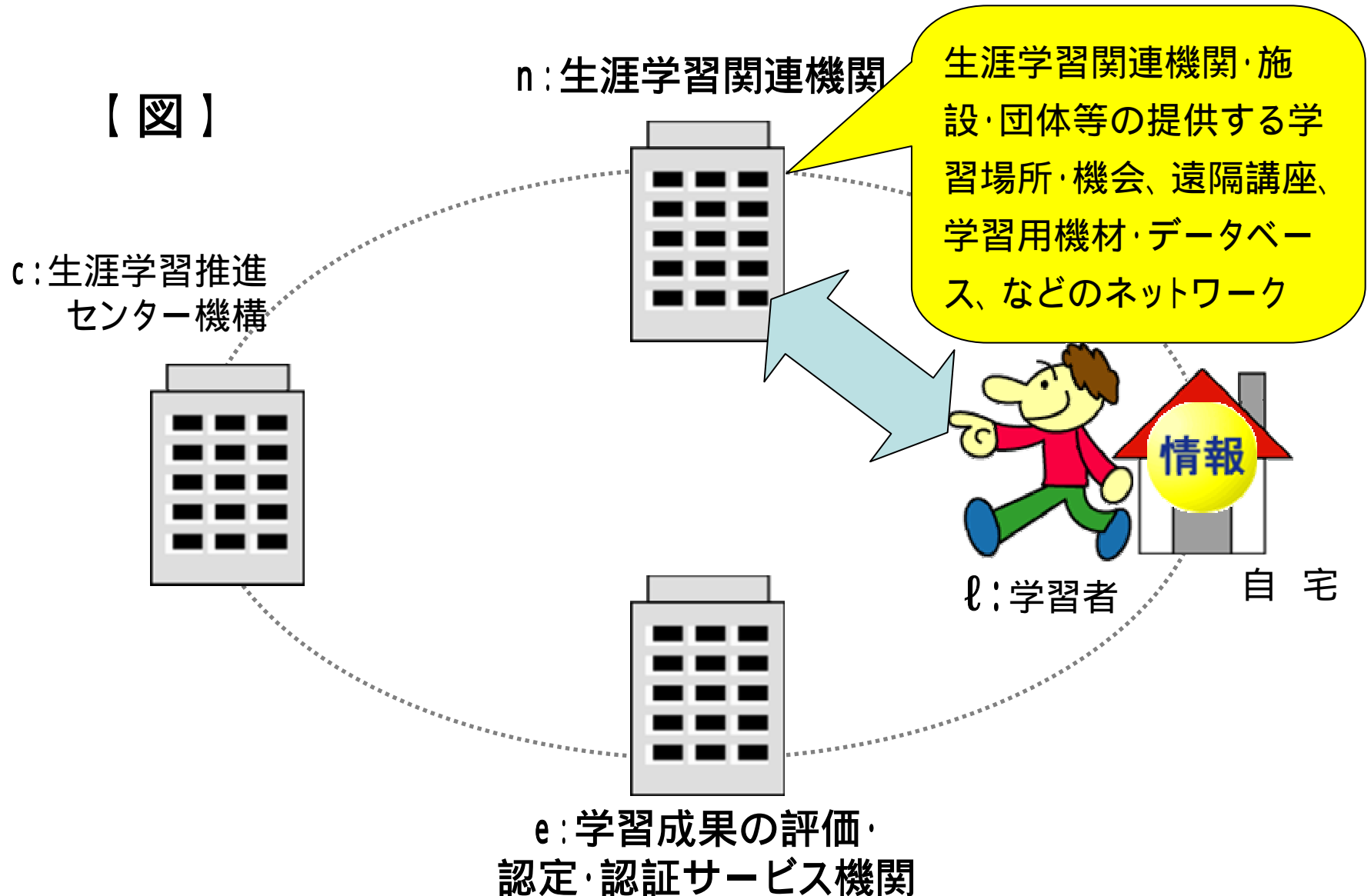
マルチメディア・ネットワークの診断
と指向性の創出、(それに基づく)連
絡・調整、生涯学習情報提供、学習
相談、調査・研究、学習プログラム・
方法・ソフトの開発、指導者研修、
などを行う機構



【図】

生涯学習関連機関

【図】

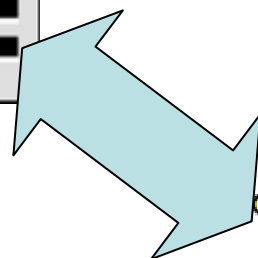
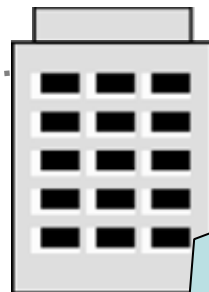
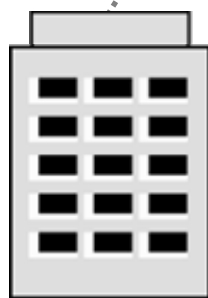


学習成果の評価・認定・ 認証サービス機関

n:生涯学習関連機関

【図】

c:生涯学習推進
センター機構

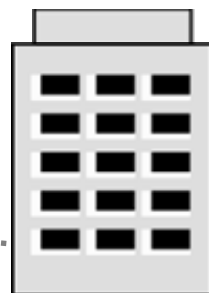


l:学習者

自宅



修了証(希望者に対してのみ)、単位、免状、資格等の付与、評価・認定の互換、累積加算、認証などを行うサービス機関

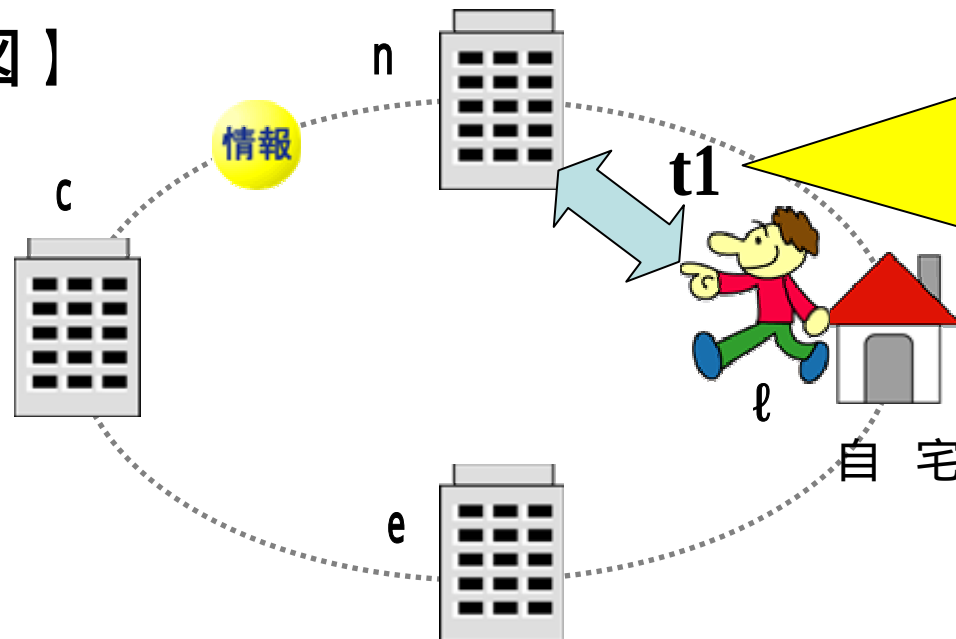


e:学習成果の評価・
認定・認証サービス機関

マルチメディア・ネットワーク

関係機関・施設・団体等との連絡や調整、
生涯学習情報提供・学習相談の実施とその利用、
マルチメディアによる遠隔教育機会、
学習資源の提供とその利用、学習成果の評価・認定・認証サービスと
その利用（希望がある場合のみ）、
学習成果の評価・認定・認証のための資料提供、など

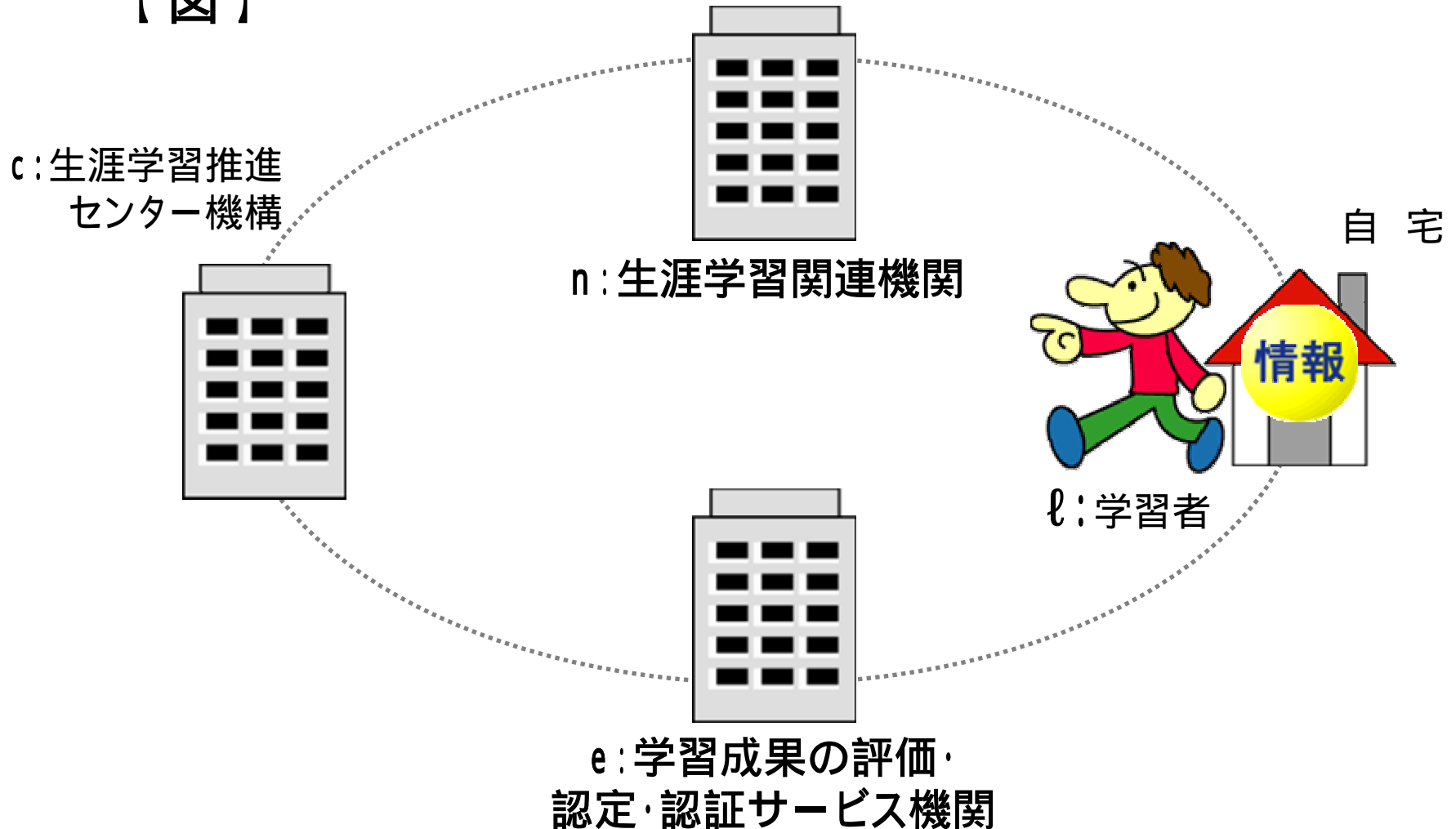
【図】



t1: 伝統型学習 (講座・教室、クラブ・グループ活動、実験、実習、見学など) の機会等の提供とその利用

< 新たな生涯学習支援システムの特徴 >

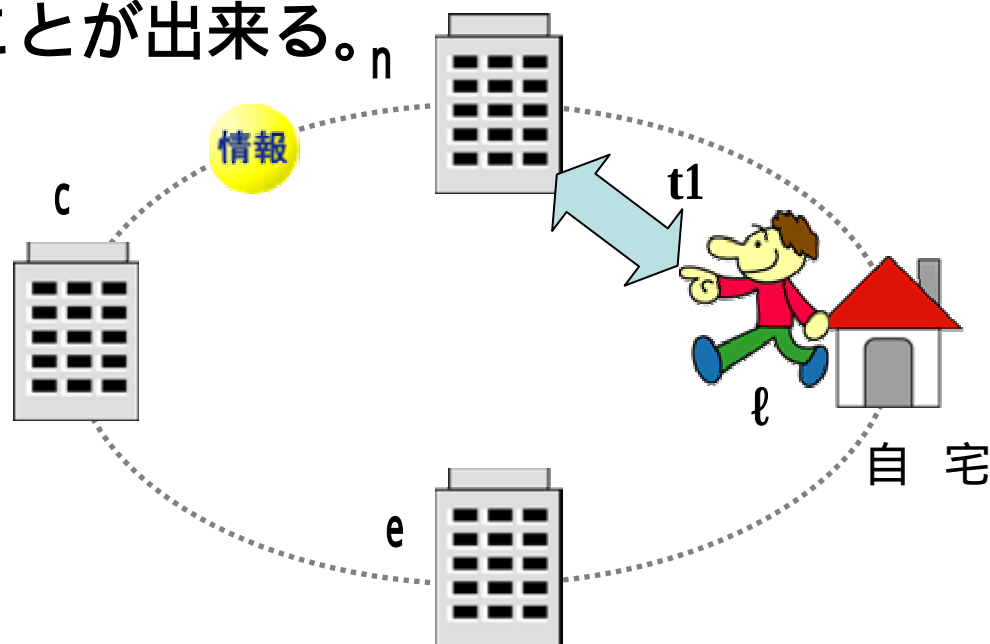
【 図 】



新たな生涯学習支援システムの利点

- ・ 情報ネットワークにより、これらの機能の多くを柔軟に遂行できるようにするものである。
- ・ 従来型のシステムのように機能遂行を特定の要素間に限定したり、固定したりせずにするので、生涯学習支援の可能性をより大きくすることが出来る。_n

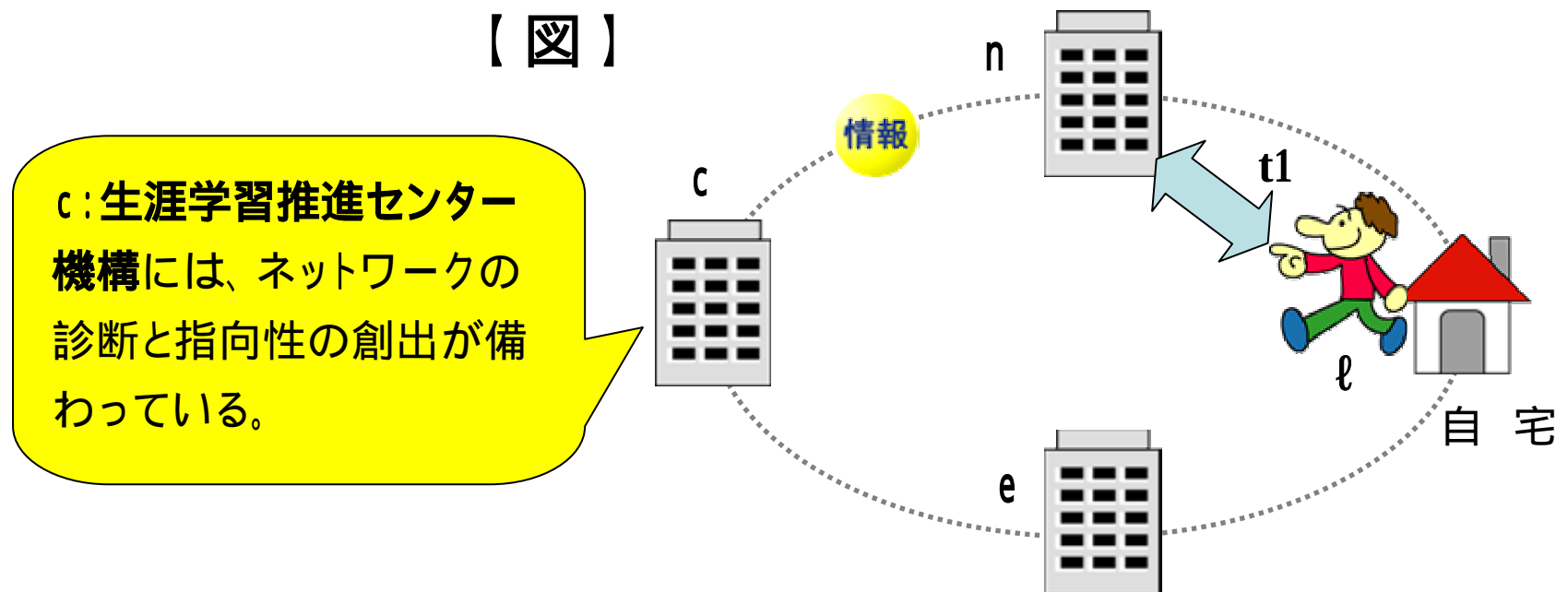
【図】



新たな生涯学習支援システムの弱点

- ・このようなネットワークは、ネットワーク・メンバーの自由で、自然発生的な活動や相互作用によって発展していくという発展をすることが多いため、ともするとその目指す方向を見失いがちになる。

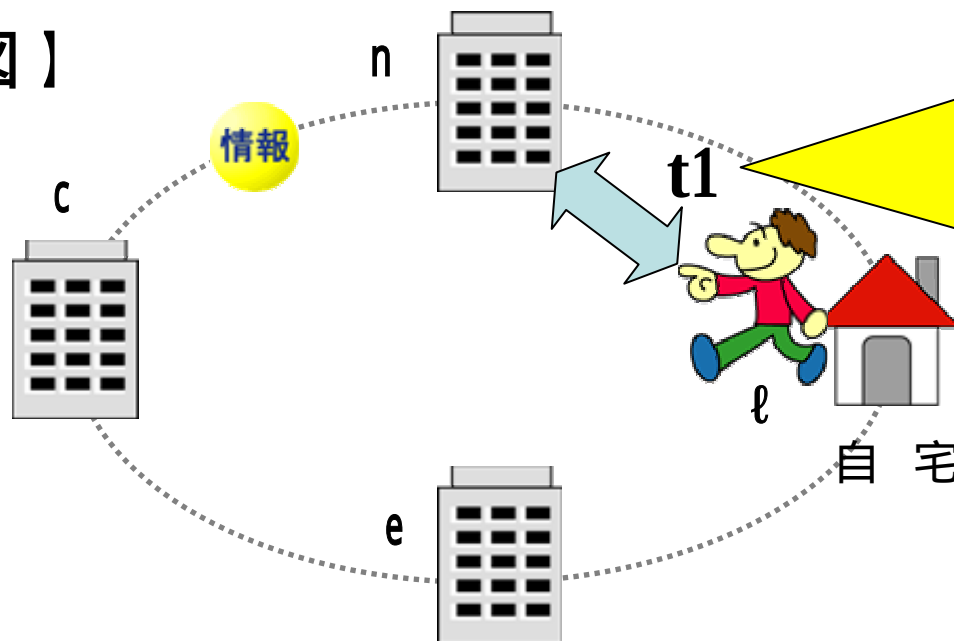
【 図 】



伝統型学習の継承

- ・マルチメディア・ネットワークを導入した生涯学習支援システムでも、図の中のnとℓの関係（t1）：学習場所・機会等の提供とその利用はそのまま残る。

【図】



t1: 伝統型学習 (講座・教室、クラブ・グループ活動、実験、実習、見学など) の機会等の提供とその利用

平成16年度 文部科学省助成

ITを活用した生涯学習事業プランニング講座

～次回講座のお知らせ～

第1講

ITを活用した新しい事業のあり方について

第2回 「バーチャル学習空間を作る流れの中で考える」

は、11月8日(月)より配信となります。

財団法人 日本視聴覚教育協会 JAVEA